



竹田牧場(駒里)で酪農体験

## 観光農園

市内の観光農園では、ブルーベリーやハスカップ、イチゴなどの果実の摘み取り体験、じゃがいもなどの収穫体験、乳牛へのえさやりや搾乳などの酪農体験ができます。



市グリーン・ツーリズム連絡協議会  
会長 佐々木 美津子

うちの農園では、全部で5品種・7千本のハスカップを育てています。生食でも甘酸っぱくて美味しい品種もありますので、ぜひ味わってみてください。  
※佐々木さんの観光農園「ささき農園(中央)」では、7月下旬までハスカップの摘み取り体験を楽しめます。

## 千産千消のススメ

最近は農家などの直売所が増

原料となるケールの生産など、現在も企業と連携した農業は行われています。企業との連携は、生産者にとって安定した取引ができるという利点があります。今後は、グリーン・ツーリズムの取組で生まれた新たなつながりをいかして、農業と工業・商業・観光など、異業種との連携を進めます。

え、地元の新鮮な農産物を手に入れやすくなりました。「とれたての農産物は、甘みやみずみずしさなどが格段に違います。今年は『軽トラ観光ちとせ市(22ページ参照)』にも参加しますので、たくさんの方に地元の農産物を食べてほしいですね」と佐々木さん。また、9月30日までの期間、「見て、知って、感じて、食す。安全安心の千産千消」をテーマに、協働事業「千産千消スタンプラリー」を行っています。直

## 農地には無断で立ち入らないで

市は、畑作や畜産を守るため、害虫などの侵入防止と防疫について、高い意識を持って厳重な対応を行っています。

広報ちとせ6月号でもお知らせしたとおり、農地に無断で立ち入ると、知らない間に靴底についた土などをとおして、害虫や疫病が広がる可能性があります。

生産者の大切な農地には無断で入らないよう、皆様のご理解をお願いします。



売所や観光農園のほか、地域の農産物をつかった飲食店などを訪れるとスタンプが集まり、抽選で素敵な商品があたりますので、ぜひ参加してください(詳しくは広報ちとせ6月号などをご覧ください)。

## 学校給食でも「千産」の取組

市内の小中学生が給食で食べる角食パンと丸パンには、千歳産の小麦粉がつかっています。

また、米も千歳産などの地元でとれたものをつかっています。

国の新たな計画では、食糧自給率の50パーセント達成を目標に掲げています。また、輸入農産物が増える中、安全・安心な農畜産物の供給を求める消費者は増えています。市は、国のさまざまな制度を皆さんに周知し、農業に関わる皆さんの窓口として事業に取り組むほか、生産者と消費者を結び「グリーン・ツーリズム」の取組などにより、「千産千消」のさらなる推進を目指します。市民の皆さんが、農園や直売所で新鮮な農産物にふれること、家庭や飲食店で地元産の農産物を食すること、さらに、防疫の面などで正しい知識を得ることは、千歳の農業を守り、持続的に発展させることにつながります。この夏、皆さんも「千産千消」を楽しみましょう。

お問い合わせ

農業振興課

調整計画係・交流推進係  
(農業の振興計画など)

☎(24)0610

生産振興係

(農畜産業の生産振興など)

☎(24)0612